

2024
秋号
No.97

ほなみ

穂濤

For WASEDA University Old Boys & Girls

発行所
早稲田大学藤沢稻門会
事務局
FAX 050-3730-7252
E-mail:w.fujisawa@crocus.ocn.ne.jp
発行人 笹井修一
穂濤編集委員会

来る10月20日(日)に早稲田大学校友会の最大イベントである稻門祭が開催されます。

校友会の説明では早稲田大学卒業生は大学を卒業すると同時に校友会員となりますので、入会、退会という概念はありません。

「校友会規則」では、「会員は、所定の会費を納入するものとする」とされています。また、「校友会は主として会費を納入した会員に対し、事を行うと定められており、特に会費納入者の方へのサービス充実に努めています」としています。

藤沢稻門会でも稻門祭記念品の購入斡旋を通じ応援しています。

今年は「輝け早稲田」「仰ぐは同じき理想の光」をスローガンにしています。卒業後15年から5年毎を対象としたホームカミングデーも例年の如く開催されます。

今年はアルコールも解禁される予定で、ご興味のある方は是非お出かけ下されば存じます。



2024年度稻門祭

記念品の販売実績

会員の皆様には毎年稻門祭記念品の購入にご協力を頂いております。本年も26名の方から15万4千円の購入をいただきました。収益は学生の支援にあてられました。誠に有難うござました。

早稲田の杜に集まれ!
稻門祭
2024.10.20SUN
HOMECOMING DAY 同日開催

秋の祭典・稻門祭

校友会神奈川県支部が出店

神奈川県支部が大隈庭園に模擬店テントを設置し、物品販売懇親会を催す予定です。お時間のある方は是非お立ち寄りください。

スポーツで快の笑いを

藤門懇話会

9月14日午後、藤沢市役所

会議室にて第7回藤門懇話会が参加者27名で開催された。

講師は前湘南ベルマーレ

社長の水谷尚人氏(平成元教育卒)。今回は平成卒の会代表の杉下由輝氏(平成9教育)を中心企画され、初めて外部から講師を招いた。さらに高校生2名の参加があった。

少年時にサッカーを始めた水谷氏は早稲田実業、早稲田大学体育会でプレーを続けた。卒業後(株)クルートに勤めた後、日本サッカー協会に奉職、2002年日韓共同開催ワールドカップの際は組織委員会に出向しチケット関係を担当するが、様々な関係者がおり苦労の連続だった。この時の経験から(株)SEA Globalを起業、スポーツを通じて、「快の笑い」を作りたいと決意する。



ルヴァン杯(2018)を手に杉下会員と水谷氏



様々な経験を語る水谷尚人氏

特にフットサルの久光重貴選手が自らがんを患いながらも小児病棟を慰問し、子供たちと触れ合って数々の社会貢献活動など。

供たちの笑顔から「笑顔の連鎖」が生まれたことに強く感動され、その活動を支援。現在では長期治療を必要とする子供の自立支援などをを行う「TEAMMATES活動」につながっているとのこと。

苦労話も明るく語られたが、強い情熱や想いが感じられる素晴らしい講演だった。

(安田佳裕記)
高野尚志 懇話会写真

穂 潤

藤稻フォトクラブ

展示室にて9月3日から6日間にわたり、第16回藤稻フォトクラブ写真展を開催しました。多くの校友にご来場いただきありがとうございました。



出展者の皆様

平成卒の会

片瀬海岸でBBQ!!

7月21日（日） 酷暑の中、片瀬海岸の海の家「AO×Siro（アオトシロ）」で、神奈川稲門会と平成卒の会の合同BBQを開催し、5稲門会から15名（3名が初参加）の参加。

海の家の中を潮風が流れ、ビルが進む心地よい環境の中、BBQを通じて、懇親を深めると共に、稲門祭2024に平成卒の会でブース出店する内容の企画会議も併せて行いました。

新たな出会いやご縁などもあり、予定を1時間以上オーバーして、稲門祭で再会す



江の島を背景にWサイン!!

二科展写真部展に入選
9月4日～16日開催の国立新美術館

「幻想」 卯辰 昇
中山謙一郎（昭48理工）



「幻想」 卯辰 昇 ※HPにはカラー掲載

第16回写真展を開催

術館での第72回二科会写真部展に当フォトクラブ会員の卯辰昇さんが初入選されました。

（中野正一 記）

「かるた藤沢百趣」を題材に講演

藤稻言葉遊びの会

7月24日（水）に市教育委員会の文化センターと市文書館の共催で「地域の記憶を継承し、現在を知る」の講演会が藤沢市庁舎本館で開催された。かるた藤沢の講演会が藤沢市庁舎本館

百趣は同会が作成。藤沢稲門会の会員が教育委員会に働きかけ大いに興味持たれ、開催となつた。

藤沢稲門会の元副会長で同会代表の三浦信道氏（昭和43政経卒）が講師。教員研修枠、市民枠の20余名が聴講した。

藤沢稲門会の会員が教育委員会に働きかけ大いに興味持たれ、開催となつた。

百趣の内容は盛り沢山では非藤沢稲門会HP（言葉遊びの会）にてご覧頂きたい。

最後にかるた（手作り）取りを行ひ皆盛り上がった。その競技性故、頭に入り易いものと感じた。

（舛岡 健記）

同会では2017年に藤沢市を市内外にPRし、年令を問わず楽しめる新形式のご当地かるたの初版を作成。藤沢を全般に紹介するのは47枚ではなく、100枚とした。

内容は当初自然・社寺等10ジャンルで各10枚で作成したが、紹介出来きれず、20に再分割、各5枚

た。

今日は厚木・伊勢原・小田原・川崎・鎌倉・茅ヶ崎・秦野・藤沢・大和・横浜の10稲門会から29名の女性幹事が参加。当会からは、山下扶佐子・松本佐知子・瀧澤和美・

女性委員会

「神奈川女性の会」に参加して

2024年6月28日、神奈川女性の会がロイヤルホールヨコハマにて開催され

た。コロナ禍を経て5年ぶりの再会となり、会話が弾み大変賑やかな集いとなつ

た。

今日は厚木・伊勢原・小田原・川崎・鎌倉・茅ヶ崎・秦野・藤沢・大和・横浜の10稲門会から29名の女性幹事が参加。当会からは、山下扶佐子・松本佐知子・瀧澤和美・



講師の三浦信道氏

穗

濤

佐藤順子の幹事4名が参加。
ウイットに富んだ自己紹介が始ま
り、つづいて各稻門会女性会員の活動状況を報告。共通の課題は女性会員の高齢化と、登録人数増加の割には実質的な活動が伴っていないことについて述べられた。

他稻門会の運営に関する良き点を参考にし、改善していくよう検討したい。80歳を超えた先輩方が、凛として笑顔で語られている姿は頗もしく感じられた。

ランチ後はビンゴゲームや歌曲の披露などもあり、締めは初体験「女性だけでの校歌齊唱」を声高らかに歌い上げた。この交流が未永く継続することを願いつつ、次回は我が藤沢での再会を約束し閉

会となつた。

佐藤順子（昭和48教育）



県下10稻門会の女性幹事の皆様



70年卒の元気な皆さん！

（中野正一記／写真 公平伸夫）

藤稻70年卒会

大船は鎌倉市ではあるが、独特な雰囲気を有している。5月23日、今年も地元に詳しい公平さんにより、酒・肴のうまい居酒屋「海福本店」で昼酒を楽しんだ。

喜寿を迎える、昨年よりだいぶ酒量が減ってしまったが、戦後生まれの団塊世代は日本経済を支えた自負もあり、会話は豊富。世界情勢からスポーツまで多岐に及んだ。

しかし、次第に話は病気の実体験談へ。病院比較やセカンドオピニオンについての情報交換では、

熱心にメモを取るほど話が煮詰まつてしまつた。

第二次会はカラオケ。受付嬢に一番いい部屋に案内してもらう。歌はいいものだ。その時代の情緒に瞬時に浸れる。我々戦後生まれは、昭和歌謡で育ち思春期にビートルズにびっくりした世代。歌う唄もそれなりながら、今回もサザンの曲で盛り上がる。何故か我々世代にも、桑田佳祐の歌は心の琴線に触れるのだ。

稻門会年次会は実際に楽しい。次回もやろうと気勢を上げて、足元が明るいうちに帰途についた。

今年も開催！

ベルグソン的に言つちやえれば固定化された感情や観念を次元の異なる空間へと移動させる。カラオ

ーが集合。青春時代をテーマに選曲し大いに歌いまくり発散しました。大音量は日々のノルマとストレスを体中から解き放ち、リズムとメロディの連続は心をあやしてくれる。発声はドーパミンに変わる。

前なのに真夏めいた日差しが湿気を煽る、そんな昼下がりのカラオケボックス。「第10回女子プチ懇親会」で歌つてリフレッシュ！」

皆で歌つてリフレッシュ！

6月16日（日）梅雨入り

前なのに真夏めいた日差しが湿気を煽る、そんな昼下がりのカラオケボックス。「第10回女子プチ懇親会」で歌つてリフレッシュ！」

ケつて好き嫌いあるけどプロじゃないんだから好き勝手に歌えば良いじゃないですか。そんな異次元の空間で青春を取り戻した私達の時間は、あつという間に通り過ぎました。

ウクライナやイスラエルの悲惨な現状、平和な日本の街、そしてこの歌つたり、喋つたり、の集い。同時に地球上に存在するのか、と余りにも個人的な違和感を感じながら帰路につきました。

新入会員交流会

新入会員交流会が6月29日17時より居酒屋「さかな屋」で開催された。新入会

員5名、幹事会から笹井会長ほか4名が参加し10名で実施された。

参加者のうち、新入会員

2名が中学高校の同級生で、久しぶりの再会に驚くと共に旧交を温めあつた。

入会の動機は、定年を迎えた始めたかったことや子供の頃に自分が体験した地引網の感動を孫に伝えたかったこと等であつた。



新しい出会いに乾杯！

まさかの同級生と再会!!

ターネーンコンサート」について皆さんの関心が高く大いに盛り上がり、是非参加したいとの心強い声があり、会員増強のためにも行事内容のより一層の工夫と充実を図ることが必要であると痛感した有意義な交流会であった。

洞江 良（昭46商学）



12人の歌姫大集合!!

深山裕子（昭和46文学・人文）

行事予定

■アフターネームコンサート

日時・11月17日(日)13時～16時

会場・新堀ライブ館

会費・3000円

締切・10月31日

定員・80名

セゴビアホール

※お申し込みはHPへ

■箱根駅伝応援

日時・1月2日(木)～3日(金)

会場・東西2会場(予定)

今年の夏が記憶に残るとしたら、まずは猛烈な暑さ。この長くて異常な暑さが始まりに過ぎない、と思うとおののきますね。「温暖化を防ぐ私達にできる30のこと」をみると「電気掃除機を使わず、雑巾・モップで。車を使わず、電車・自転車で。テレビなどの待機電力を減らすために基本コンセントを抜いておく」易しそうで難しい！文明の発達への皮肉！個人の努力はさりながら、やはり、企業国レベルで何とかしてほしい。

二つ目は、この暑さでインドアがちの私達にとって、パリオリンピックでの様々な分野でのメダルと、大谷翔平選手の活躍は、日本人の進歩が数値化されて嬉しいの一言です。この二つが無かつたらただただ辛い夏でした。

編集後記

（山下扶佐子記）

編集委員長
舛岡 健

編集委員
高野尚志・中野正一
安田佳裕・山口金雄

山下扶佐子
（山下扶佐子記）